



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2018年7月31日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	68,533	2.5	7,408	△6.9	7,851	0.5	5,265	1.6
2018年3月期第1四半期	66,868	6.2	7,959	5.4	7,809	27.1	5,183	59.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 367百万円 (△89.6%) 2018年3月期第1四半期 3,537百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	50.54	50.07
2018年3月期第1四半期	50.94	47.51

(注) 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	284,413	154,074	53.3	1,454.32
2018年3月期	278,547	157,361	55.5	1,484.19

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 151,500百万円 2018年3月期 154,607百万円

(注) 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	60.00	—	64.00	124.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	31.00	—	31.00	62.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,000	1.4	31,300	1.3	30,600	0.7	21,800	2.8	209.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	107,508,954株	2018年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	3,336,355株	2018年3月期	3,338,967株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	104,170,522株	2018年3月期1Q	101,764,917株

(注)2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「発行済株式数（普通株式）」を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、鉱工業生産は足踏みが続いたものの、好調な企業業績と人手不足の深刻化を背景に、合理化・省力化の為の設備投資の増加や、実質所得の回復による消費拡大が寄与、全体的には緩やかな成長が続きました。海外に目を転じますと、中国経済は、小型車減税処置終了等に伴い耐久消費財が伸び悩んだものの、可処分所得拡大や不動産住宅投資、民間設備投資が牽引して成長を継続しています。一方、欧州経済については、米国の保護主義政策に起因する製造業マインドの低下やBrexitの先行き不透明感等により成長速度を鈍化させつつあります。他方、米国に於いては、民間部門主導の自律的な景気回復の動きに加えて、税制改革や歳出上限の引き上げ等、景気を一層加速させております。このように、まだら模様ではありましたが、地政学リスクや新興国の資金決済リスク、保護貿易主義台頭という懸念を抱えつつも、世界経済全体としては引き続き成長軌道にありました。

当社グループの主要顧客であります自動車業界についてですが、日本市場では、対前年同期比で生産販売台数の増加が見られました。一方、海外におきましては、中国市場では、販売台数は増加しているものの、小型車減税処置終了の影響で一時的に生産台数が前年割れとなり、特に昨年来の韓国勢OEMの苦戦が目立ちました。北米及び欧州市場については概ね堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.5%増の685億3千3百万円となりました。

利益面では、北米での工場や製品の立上費用の増加に加えて、材料価格の高騰等の影響で売上原価の増加が売上の増加を上回った結果、売上総利益が前年同期比で減少しました。販売費及び一般管理費も対前年で増加したため、営業利益は前年同期比6.9%減の74億8百万円となりました。経常利益は為替差損益の改善等により前年同期比0.5%増の78億5千1百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1.6%増の52億6千5百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては自動車生産台数の増加に加えて、新型車への当社製品1台あたり搭載金額が伸びたことにより売上拡大に貢献、中国に於ける韓国系OEM向けの不振の影響はありましたが、北米や欧州では前年を上回ったため、全体としては前年比で増収となりました。利益面では、材料価格高騰や固定費の増加により国内での収益性が悪化、北米に於ける工場や製品の立上費用の増加も響いて、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比2.2%増の625億8百万円となり、セグメント利益につきましては、前年同期比6.4%減の81億3千2百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては、「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略を推し進めました結果、増収増益となりました。一方、アジアにおいても、特に中国でのホテル向け受注増大が寄与し、全体として好調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業売上高は前年同期比5.4%増の59億9千6百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比15.9%増の9億1千6百万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は売掛債権買取と各種サービス業務の受託であります。当第1四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、前年同期比9.6%減の2千8百万円となりました。セグメント利益につきましては前年同期比25.9%増の9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ58億6千6百万円増加して、2,844億1千3百万円となりました。増加要因としては、新規投資や借入金返済のために、社債や長期借入金による調達を行ったことで、現金及び預金が87億7千4百万円増加しましたが、新規の投資額が減価償却額を下回ったことで固定資産合計が25億5千2百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ91億5千4百万円増加して、1,303億3千9百万円となりました。増加要因としては、新規の資金調達等により社債が194億6千3百万円増加し、長期借入金も125億5千9百万円増加しましたが、一方で1年内返済予定の長期借入金が返済等により204億4百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億8千7百万円減少して、1,540億7千4百万円となりました。主として利益剰余金が19億2千7百万円増加したものの、円高により為替換算調整勘定が49億7千万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,165	70,940
受取手形及び売掛金	49,768	49,813
電子記録債権	7,024	7,149
有価証券	522	243
商品及び製品	23,037	23,800
仕掛品	2,381	2,153
原材料及び貯蔵品	6,040	5,958
その他	7,907	7,188
貸倒引当金	△238	△218
流動資産合計	158,609	167,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,633	38,144
機械装置及び運搬具(純額)	22,034	21,029
工具、器具及び備品(純額)	4,763	4,640
金型(純額)	5,603	5,854
土地	20,994	20,663
リース資産(純額)	1,261	1,173
建設仮勘定	9,342	10,646
有形固定資産合計	103,635	102,152
無形固定資産		
のれん	2,323	2,075
その他	2,314	2,034
無形固定資産合計	4,638	4,109
投資その他の資産		
投資有価証券	6,985	6,927
繰延税金資産	1,567	1,387
その他	3,202	2,895
貸倒引当金	△92	△87
投資その他の資産合計	11,663	11,123
固定資産合計	119,937	117,384
資産合計	278,547	284,413

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,569	20,016
1年内償還予定の社債	1,726	1,626
短期借入金	9,057	8,552
1年内返済予定の長期借入金	28,799	8,394
未払金	5,932	5,485
未払法人税等	2,745	3,316
賞与引当金	1,793	2,599
その他	11,556	10,943
流動負債合計	83,181	60,934
固定負債		
社債	12,151	31,614
転換社債型新株予約権付社債	10,523	10,520
長期借入金	4,653	17,212
繰延税金負債	4,350	3,745
退職給付に係る負債	3,833	3,872
その他	2,491	2,439
固定負債合計	38,004	69,405
負債合計	121,185	130,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	14,348	14,348
利益剰余金	137,198	139,126
自己株式	△7,846	△7,839
株主資本合計	150,990	152,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,549	1,487
繰延ヘッジ損益	42	△64
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	3,852	△1,118
退職給付に係る調整累計額	△1,834	△1,736
その他の包括利益累計額合計	3,616	△1,424
非支配株主持分	2,753	2,573
純資産合計	157,361	154,074
負債純資産合計	278,547	284,413

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	66,868	68,533
売上原価	47,161	49,076
売上総利益	19,706	19,457
販売費及び一般管理費	11,746	12,048
営業利益	7,959	7,408
営業外収益		
受取利息	57	68
為替差益	42	463
その他	408	348
営業外収益合計	508	880
営業外費用		
支払利息	171	147
社債発行費	—	115
その他	487	175
営業外費用合計	658	438
経常利益	7,809	7,851
特別利益		
固定資産売却益	27	43
特別利益合計	27	43
特別損失		
固定資産処分損	19	7
子会社株式売却損	※1 60	—
特別損失合計	80	7
税金等調整前四半期純利益	7,756	7,887
法人税等	2,394	2,426
四半期純利益	5,361	5,460
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,183	5,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	178	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155	△61
繰延ヘッジ損益	△66	△107
為替換算調整勘定	△1,584	△5,024
退職給付に係る調整額	△17	99
その他の包括利益合計	△1,823	△5,093
四半期包括利益	3,537	367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,332	223
非支配株主に係る四半期包括利益	205	143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 子会社株式売却損

連結子会社である株式会社ジャパンタイムズの株式を全て売却したことによるものであります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,145	5,691	66,836	31	66,868	-	66,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	11	19	31	△31	-
計	61,156	5,691	66,848	51	66,899	△31	66,868
セグメント利益又は損失(△)	8,692	790	9,482	7	9,489	△1,530	7,959

- (注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。なお、新聞及び出版事業を行っていた株式会社ジャパントイムズの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,530百万円は、全社費用△1,545百万円及びセグメント間取引消去15百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,508	5,996	68,504	28	68,533	-	68,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	-	13	59	73	△73	-
計	62,522	5,996	68,518	87	68,606	△73	68,533
セグメント利益又は損失(△)	8,132	916	9,049	9	9,058	△1,649	7,408

- (注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,649百万円は、全社費用△1,664百万円及びセグメント間取引消去14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。